北海道教育委員会「S-TEAM 教育推進事業」
令和６年度（2024 年度）授業研究(等改善)セミナー

道南・外国語　実施報告

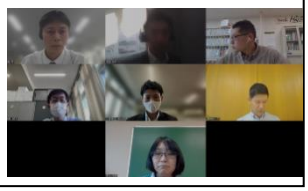
実　施　状　況

令和６年（2024 年）11 月８日（金）、北海道函館中部高等学校を会場に「外国語における探究的な学び（主体的・対話的で深い学びの充実）」と「ICT（１人１台端末）を活用した効果的な学習指導」をテーマとして、授業研究セミナーを開催し、道南ブロックから 19 名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の推進を目的に御活用ください。

【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭４名、道教委指導主事・研究研修主事３名合計７名からなる「授業研究チーム」を編制し、オンラインで学習指導案検討会を４回実施しました。学習指導案検討会での協議の中心は、４技能５領域をバランスよく伸ばすため、単元内で外国語における探究的な学びを深め、英語科での「思考力・判断力・表現力等」の育成の充実に向けた取組について検討しました。



単元の目標に迫るため、『探究的』とはどういうことか改めて見つめ直し、生徒の思考をどのように深めることができるかについて協議しました。

【研究授業（実践発表）】北海道函館中部高等学校　田　畑　健　太　教諭

英語コミュニケーションⅠの単元 Lesson８ The Best Education to Everyone, Everywhere において、「多角的な視点で論理的に自他の意見をまとめ、表現する力の育成」をねらいとした研究授業を行いました。生徒はパフォーマンステストである「身近に感じた困りごとを解決するためのビジネスプランを提案すること（詳細は学習指導案参照）」に向けて合意形成をはかりました。

生徒は、本単元で読んだり聞いたりした情報をもとに、グループプレゼンテーションにむけて、身近な困りごとをそれぞれ共有し、１つのビジネスプランを合意形成しました。その際の支援として、ホワイトボードや１人１台端末を活用して、アイデアを可視化しビジネスプランの「整理・分析」を行いやすいようにしました。この活動では、生徒自身が使いやすいツール（ホワイドボードもしくはタブレット端末等）を選択する「学習の個性化」が見られました。

学習指導案

ワークシート資料

【研究協議】１「外国語科における探究的な学び」
２「外国語科、英語科における「思考力・判断力・表現力等」育成の取組について、今どのような授業が求められているか」

☆☆　研究授業実施後、研究協議を行いました。協議の中では、次のような意見が出ました。

１　「外国語科における探究的な学び」

「そのために教師ができること」

・生徒が課題を自分事にする工夫
・各学年、発達段階に応じ、３カ年かけて育みたい力を育成
・教師が学び続ける必要性、多くのことに興味をもつ姿勢

外国語科における探究的な学び　＝　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

２　「外国語科、英語科における「思考力・判断力・表現力等」育成の取組について、今どのような授業が求められているか」

・アウトプットに注力した授業づくり（ディベート、プレゼンテーションなど複数技能を統合した言語活動や、生徒の習熟に応じ、英語で読んだことについて日本語で話し合う活動など）
・探究的な学びを深め、学習の個性化を図るツールとしての ICT
・読むことや聞くことについて定着を図る工夫の必要性。

セミナー参加者の声

◆◆　学んだこと、感じたこと　◆◆

・「英語を学ぶ」だけでなく「英語を使ってアイディアを出し、新しいことを学ぶ」という授業を実際に見ることができた。
・探究のプロセスを随所に散らばせながらの授業に感銘を受けた。生徒一人一人が英語でやり取りし、個人思考からグループ思考へシフトすることで考えがより深まっていると思う。
・教科書をメインとするのではなく、テーマをメインとして学びを深める授業デザインに大変感銘を受けました。
・授業の内容だけでなく流れがしっかりと組み立てられていて、探究や主体性など重点を置くポイントが明確だった。

◆◆　アンケートの結果（一部）　◆◆

１　教科における「探究的な学び」・「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。

・おおいに深まった　90.0%
・深まった　10.0%

２　今回のセミナーの内容等は、あなたの授業において活用できますか。

・おおいに活用できる　70.0%